

## 地球温暖化対策報告書（その1）

### 1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあつては名称 及び代表者の氏名)	江戸川区 区長 多田 正見
事業者番号	A 1 0 2 0

### 2 報告する事業所等の全体の状況（平成28年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	65 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	7,987 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0 kl

### 3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

### 4 事業者としての取組

取組方針	<p>平成13年1月に「第一次環境行動計画」を策定し、庁舎等のエネルギー消費量及び温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを開始した。以降、「第二次環境行動計画（平成17～19年度）」、「第三次環境行動計画（平成20～24年度）」を経て、現在、「第四次環境行動計画（平成25～29年度）」による取り組みを推進している。</p>			
組織体制の 整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築
	A102	温暖化対策推進担当の配置		
	A103	具体的な取組目標と内容の設定		

### 5 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	江戸川区役所 本庁舎										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央1-4-1									
事業所等の延床面積	17,428.71		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	486	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	943 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	15 t
	総計( = + )	958 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	54.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	75,189.3	45.00	3,383.5	0.014	168.7	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	254.0	36.70	9.3	0.019	0.6	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,584,073.0	9.76	15,460.6	0.489	774.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						18,853.4		944.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	22,264.0			0.251	5.6	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	22,264.0			0.439	9.8	
合計								15.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策			
	対策番号	対策名	対策番号	対策名		
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置				
	A203	具体的な取組目標と内容の設定				
	A204	取組状況の点検体制の構築				
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理	
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止	
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化	
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
				C503	利用客数の時間帯別把握	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃	
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検	
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
		D106	ボイラ等の定期点検の実施			
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)	

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、D107\_ボイラ等の空気比の調整、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	第二庁舎										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央1-10-5									
事業所等の延床面積	1,711.35 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	41	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	80	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	81	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	46.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	295.8	45.00	13.3	0.014	0.7	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	162,901.0	9.76	1,589.9	0.489	79.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,603.2		80.3	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,840.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,840.0			0.439	0.8	
合計								1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C502	採光を利用した消灯の実施
				C512	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C517	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104_設備ごとに詳細に把握、B103_時間的に詳細に把握、C103_日本工業規格に準じた照度の設定、C104_採光を利用した消灯の実施、C105_昼休み時の消灯の実施、C107_空調機スイッチに空調範囲を表示、C111_予熱・予冷時の外気導入の停止、C112_季節に応じた外気導入量の適正化、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130_エレベータ運転台数の制限、C524_水道メータ等で漏水の有無の点検、</p>
---

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩清掃事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 1-7-7									
事業所等の延床面積	1,445.85		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	78	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	152	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	8	t
	総計( = + )	160	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	105.1	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	37,899.6	45.00	1,705.5	0.014	85.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	138,004.0	9.76	1,346.9	0.489	67.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,052.4		152.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	11,637.0			0.251	2.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	11,637.0			0.439	5.1	
合計								8.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策			
	対策番号	対策名	対策番号	対策名		
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置				
	A203	具体的な取組目標と内容の設定				
	A204	取組状況の点検体制の構築				
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握		
			B108	エネルギー等情報の対策への活用		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止	
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C502	採光を利用した消灯の実施	
				C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	
				C517	看板照明点灯時間の季節別管理	
				C511	その他設備の効率的な使用法表示	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃	
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検	
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
		D106	ボイラ等の定期点検の実施			
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)	

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C111\_予熱・予冷時の外気導入の停止、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C525\_利用客数別水道使用量の把握、D107\_ボイラ等の空気比の調整、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西清掃事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 4-1-2									
事業所等の延床面積	1,828.64		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	7	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	97	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	190	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	11	t
	総計( = + )	201	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	103.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	59,681.3	45.00	2,685.7	0.014	133.9
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		L	1,000.0	36.70	36.7	0.019	2.5
	その他( )			0.0				
	その他( )			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	109,787.0	9.76	1,071.5	0.489	53.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,793.9		190.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	15,956.0			0.251	4.0
	公共下水道		m <sup>3</sup>	15,956.0			0.439	7.0
合計							11.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策			
	対策番号	対策名	対策番号	対策名		
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置				
	A203	具体的な取組目標と内容の設定				
	A204	取組状況の点検体制の構築				
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握		
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握		
			B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C502	採光を利用した消灯の実施	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃	
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
		D104	空調フィルターの清掃・点検			
		D106	ボイラ等の定期点検の実施			
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)			
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)			

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ホテルシーサイド江戸川										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 6-2-2									
事業所等の延床面積	5,611.32		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	437	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	847 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	12 t
	総計( = + )	859 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	150.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	137,710.6	45.00	6,197.0	0.014	309.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,101,581.0	9.76	10,751.4	0.489	538.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						16,948.4		847.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	18,072.0			0.251	4.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	18,072.0			0.439	7.9	
合計								12.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C401	利用客数の時間帯別把握
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C417	不使用室の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無				
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%
		CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、B103\_時間的に詳細に把握、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C105\_昼休み時の消灯の実施、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C407\_食器洗浄機の効率的な使用法表示、C416\_その他設備の効率的な使用法表示、C418\_客室清掃時の空調停止、C420\_客室・共用部外調機の温度設定、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合文化センター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央4-14-1									
事業所等の延床面積	16,495.77		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	556	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	1,079 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10 t
	総計( = + )	1,089 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	65.4 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	73,626.2	45.00	3,313.2	0.014	165.2	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0				
	その他( )			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	1,870,603.0	9.76	18,257.1	0.489	914.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					21,570.3		1,079.9	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	14,957.0			0.251	3.8	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	14,957.0			0.439	6.6	
合計							10.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、...

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	区民センター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松島 1-38-1									
事業所等の延床面積	9,318.65 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	334	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	648 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	8 t
	総計( = + )	656 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	69.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	65,061.7	45.00	2,927.8	0.014	146.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	1,027,859.0	9.76	10,031.9	0.489	502.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						12,959.7		648.6	
その他	水道及び工業用水道			m <sup>3</sup>	12,180.0			0.251	3.1
	公共下水道			m <sup>3</sup>	12,180.0			0.439	5.3
合計								8.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、...

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	篠崎公益複合施設等(駐輪含む)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	篠崎町 7-20-19									
事業所等の延床面積	6,357.42		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	89	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	173 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	174 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	27.2 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他( )			0.0				
	その他( )			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	354,009.0	9.76	3,455.1	0.489	173.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,455.1			173.1
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,884.0			0.251	0.7
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,884.0			0.439	1.3
合計								2.0

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
	設備保守対策			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C107 空調機スイッチに空調範囲を表示、C105 昼休み時の消灯の実施、C122 冷風と温風の混合損失の防止、C124 冷凍機等の出入口温度把握と調整、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ小岩										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 2-14-17									
事業所等の延床面積	3,249.20		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	41	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	81	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	82	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	24.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	985.0	45.00	44.3	0.014	2.2	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	161,531.0	9.76	1,576.5	0.489	79.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,620.9		81.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,936.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,936.0			0.439	0.8	
合計								1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ南小岩										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南小岩 4-5-8									
事業所等の延床面積	2,015.91		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	31	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	60	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	62	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	29.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	2,428.2	45.00	109.3	0.014	5.4	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	112,026.0	9.76	1,093.4	0.489	54.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,202.6		60.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,986.0			0.251	0.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,986.0			0.439	1.3	
合計								2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C130\_エレベータ運転台数の制限、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ一之江										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	一之江 3-13-7									
事業所等の延床面積	1,916.90		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	63 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	65 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	32.8 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	2,527.0	50.80	128.4	0.016	7.6	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	113,651.0	9.76	1,109.2	0.489	55.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,237.6			63.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,482.0			0.251	0.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,482.0			0.439	1.5	
合計								2.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	共育プラザ南篠崎										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	南篠崎町 3-12-8									
事業所等の延床面積	2,386.00 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	3	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	34	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	66 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	67 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	27.6 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	2,030.9	45.00	91.4	0.014	4.6	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	125,915.0	9.76	1,228.9	0.489	61.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,320.3		66.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,668.0			0.251	0.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,668.0			0.439	1.2	
合計								1.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C105\_昼休み時の消灯の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C130\_エレベータ運転台数の制限、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合体育館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松本 1-35-1									
事業所等の延床面積	8,693.86		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	432	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	839 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	15 t
	総計( = + )	854 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	96.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	109,037.7	45.00	4,906.7	0.014	244.7	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,216,740.0	9.76	11,875.4	0.489	595.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					16,782.1			839.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	22,744.0			0.251	5.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	22,744.0			0.439	10.0	
合計								15.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	スポーツランド										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	6	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東篠崎 1-8-1									
事業所等の延床面積	9,002.37		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	372	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	723 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	9 t
	総計( = + )	732 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	80.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	19,076.9	45.00	858.5	0.014	42.8
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他( )			0.0				
	その他( )			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	1,391,230.0	9.76	13,578.4	0.489	680.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					14,436.9		723.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	13,481.0			0.251	3.4
	公共下水道		m <sup>3</sup>	13,481.0			0.439	5.9
合計							9.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E114	高効率パッケージの採用	E108	高効率照明器具の採用(屋外)
		E123	トップランナー機器の採用	E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。E125\_高輝度誘導灯の導入、B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、その他多数の対策を行っている

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	スポーツセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 4-2-20									
事業所等の延床面積	11,029.74		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	695	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	1,347 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	26 t
	総計( = + )	1,373 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	122.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	271,790.4	45.00	12,230.6	0.014	609.9	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	1,508,485.0	9.76	14,722.8	0.489	737.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						26,953.4		1,347.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	38,278.0			0.251	9.6	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	38,278.0			0.439	16.8	
合計								26.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	陸上競技場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	1	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	以 清新町 2-1-1									
事業所等の延床面積	7,199.65		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	51	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	99 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	101 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	13.7 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	960.9	45.00	43.2	0.014	2.2	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	198,129.0	9.76	1,933.7	0.489	96.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,977.0			99.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	4,344.0			0.251	1.1	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	4,344.0			0.439	1.9	
合計								3.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、B103\_時間的に詳細に把握、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C112\_季節に応じた外気導入量の適正化、C113\_中間期における外気冷房の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握。

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	球場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西7-2-1									
事業所等の延床面積	1,881.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	51	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	100	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	102	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	53.1	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	185.6	45.00	8.4	0.014	0.4	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	204,413.0	9.76	1,995.1	0.489	100.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,003.4		100.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,540.0			0.251	0.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,540.0			0.439	1.6	
合計								2.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C113\_中間期における外気冷房の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	臨海球技場第一										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 1-1-2									
事業所等の延床面積	493.98 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	92	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	180 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	4 t
	総計( = + )	184 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	364.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	1,143.2	50.80	58.1	0.016	3.4	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	361,495.0	9.76	3,528.2	0.489	176.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,586.3			180.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	6,454.0			0.251	1.6	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	6,454.0			0.439	2.8	
合計								4.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	谷河内テニスコート										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	0	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	谷河内 2-9-19									
事業所等の延床面積	68.70 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	4	6	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	66	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	128 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	128 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	1,863.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	125.7	45.00	5.7	0.014	0.3	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )		0.0					
	その他( )		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	263,143.0	9.76	2,568.3	0.489	128.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,573.9		129.0	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	900.0			0.251	0.2	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	900.0			0.439	0.4	
合計							0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	中央図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央3-1-3									
事業所等の延床面積	8,482.90		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	284	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	550 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	552 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	64.8 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	69,876.6	45.00	3,144.4	0.014	156.8	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	805,762.0	9.76	7,864.2	0.489	394.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						11,008.7		550.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,610.0			0.251	0.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,610.0			0.439	1.6	
合計								2.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩図書館(新)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	8	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩3-6-9									
事業所等の延床面積	2,933.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	83	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	161	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	162	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	54.8	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	25,895.7	45.00	1,165.3	0.014	58.1	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	211,171.0	9.76	2,061.0	0.489	103.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,226.3		161.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,097.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,097.0			0.439	0.9	
合計								1.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井 1-11-26									
事業所等の延床面積	1,209.18 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	63 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	64 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	52.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	10,602.3	45.00	477.1	0.014	23.8	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	82,093.0	9.76	801.2	0.489	40.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,278.3			63.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,651.0			0.251	0.4	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,651.0			0.439	0.7	
合計								1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 6-24-1									
事業所等の延床面積	1,550.55 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	52	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	101 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	101 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	65.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他( )			0.0				
	その他( )			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	208,195.0	9.76	2,032.0	0.489	101.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,032.0		101.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,368.0			0.251	0.3
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,368.0			0.439	0.6
合計							0.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			C503	利用客数の時間帯別把握

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無				
目標値等(選択)						
			CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
			その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	西葛西図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 5-10-47									
事業所等の延床面積	2,341.85 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設			商業施設(飲食) その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	85	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	165 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	166 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	70.4 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	27,663.7	45.00	1,244.9	0.014	62.1	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	211,622.0	9.76	2,065.4	0.489	103.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,310.3			165.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,077.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,077.0			0.439	0.9	
合計								1.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、  
=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置			
		A203	具体的な取組目標と内容の設定			
		A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
				B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施	
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止	
	設備保守対策				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
					C503	利用客数の時間帯別把握
			D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	設備導入対策		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
			D104	空調フィルターの清掃・点検		
			E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
					E127	蒸気バルブ等の断熱強化
			E128	フリークーリングの導入		
			E129	全熱交換器の導入		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、E104\_照明点灯範囲の細分化、E105\_照明用人体感センサの採用、E109\_空調の冷温水配管の保温の実施、E110\_高効率モータの導入(空調用)、E111\_ポンプ・ファンのインバータ制御、E112\_空調用高効率冷凍機の採用、E113\_高効率ボイラの採用(空調用)、E124\_更新に合わせた高効率機器の採用、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部図書館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 2 36 6									
事業所等の延床面積	2,000.97 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	2	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	54	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	104	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	105	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	51.9	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	15,035.3	45.00	676.6	0.014	33.7	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	145,146.0	9.76	1,416.6	0.489	71.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,093.2		104.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,861.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,861.0			0.439	0.8	
合計								1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	松江コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	2	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	松江 7-5-12									
事業所等の延床面積	1,747.43		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	41	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	80	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0	t
	総計( = + )	80	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	45.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	10,675.7	45.00	480.4	0.014	24.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	116,037.0	9.76	1,132.5	0.489	56.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,612.9		80.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	861.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	861.0			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C104採光を利用した消灯の実施C105\_昼休み時の消灯の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	松江区民プラザ									
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	2
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	5	区市町村名 江戸川区
	町名番地下	松江 2-1-10								
事業所等の延床面積	2,599.29 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有						
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)			
	工場			複合施設			その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点										

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	84	kl
二酸化炭素排出量	163	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	163	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
総計( = + )	164	t
二酸化炭素排出原単位	62.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	62.7	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	29,725.6	45.00	1,337.7	0.014	66.7	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	198,583.0	9.76	1,938.2	0.489	97.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,275.8			163.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,661.0			0.251	0.4	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,661.0			0.439	0.7	
合計								1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井4-1-1									
事業所等の延床面積	2,002.78 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	49	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	95 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	96 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	47.4 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	156.6	45.00	7.0	0.014	0.4	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	195,005.0	9.76	1,903.2	0.489	95.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,910.3		95.7	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	1,664.0			0.251	0.4	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	1,664.0			0.439	0.7	
合計							1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小松川区民施設(さくらホール)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	小松川 3-6-3									
事業所等の延床面積	5,173.63 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	334	kl
二酸化炭素排出量	647	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	647	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10	t
総計( = + )	657	t
二酸化炭素排出原単位	125.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	125.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	137,890.4	45.00	6,205.1	0.014	309.4
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他( )			0.0				
	その他( )			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	691,760.0	9.76	6,751.6	0.489	338.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					12,956.6		647.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	15,764.0			0.251	4.0
	公共下水道		m <sup>3</sup>	15,764.0			0.439	6.9
合計							10.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	平井コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井4-18-10									
事業所等の延床面積	1,549.43		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	37	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	73 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	73 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	47.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	103.4	45.00	4.7	0.014	0.2	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	149,906.0	9.76	1,463.1	0.489	73.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,467.7		73.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	833.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	833.0			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	中平井コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	平井7-1-6									
事業所等の延床面積	1,669.23		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	33	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	64	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0	t
	総計( = + )	64	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	38.3	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	11,423.0	45.00	514.0	0.014	25.6	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	79,894.0	9.76	779.8	0.489	39.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,293.8		64.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	368.0			0.251	0.1	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	368.0			0.439	0.2	
合計								0.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104_設備ごとに詳細に把握、C102_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104_採光を利用した消灯の実施、C118_自動販売機の休日・夜間照明停止、C122_冷風と温風の混合損失の防止、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129_季節に応じた温度設定の見直し、C130_エレベータ運転台数の制限、C524_水道メータ等で漏水の有無の点検、</p>
---

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 3-10-1									
事業所等の延床面積	7,392.32		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	211	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	410	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	5	t
	総計( = + )	415	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	55.4	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	66,667.3	45.00	3,000.0	0.014	149.6	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	533,117.0	9.76	5,203.2	0.489	260.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						8,203.2		410.3	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	7,276.0			0.251	1.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	7,276.0			0.439	3.2	
合計								5.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C104\_採光を利用した消灯の実施、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	勤労福祉会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	9	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	船堀 4-2-5									
事業所等の延床面積	2,282.84		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)			建物の一部(その他)				
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)			商業施設(飲食)				
	工場			複合施設			その他				
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	83	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	161	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	162	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	70.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	27,910.2	45.00	1,256.0	0.014	62.6	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	202,864.0	9.76	1,980.0	0.489	99.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,235.9		161.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,034.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,034.0			0.439	0.9	
合計								1.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C122	冷風と温風の混合損失の防止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	北葛西コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北葛西 2-11-39									
事業所等の延床面積	1,491.50		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	59	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	115	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	76.4	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	22,548.2	45.00	1,014.7	0.014	50.6	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )		0.0					
	その他( )		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	131,106.0	9.76	1,279.6	0.489	64.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,294.3		114.7	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	1,607.0			0.251	0.4	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	1,607.0			0.439	0.7	
合計							1.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C126	事務用機器の台数見直し・集約化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E123	トップランナー機器の採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C111\_予熱・予冷時の外気導入の停止、C113\_中間期における外気冷房の実施、C130\_エレベータ運転台数の制限、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	二之江コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	3	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 6-46									
事業所等の延床面積	1,752.80		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	44	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	86	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0	t
	総計( = + )	86	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	49.0	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	91.8	45.00	4.1	0.014	0.2	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	176,583.0	9.76	1,723.5	0.489	86.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,727.6		86.6	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	878.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	878.0			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C130\_エレベータ運転台数の制限、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	新田コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 7-17-1									
事業所等の延床面積	960.47 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	62 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	62 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	64.5 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	100.5	45.00	4.5	0.014	0.2	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()		0.0					
	その他()		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	127,479.0	9.76	1,244.2	0.489	62.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,248.7		62.6	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	669.0			0.251	0.2	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	669.0			0.439	0.3	
合計							0.5	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策			C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		D104	空調フィルターの清掃・点検	C503	利用客数の時間帯別把握
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C130\_エレベータ運転台数の制限、C510\_その他設備の不使用时の停止、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	清新町コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	7	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	清新町 1-2-2									
事業所等の延床面積	2,898.66 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	65	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	127 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	128 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	43.8 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	309.3	45.00	13.9	0.014	0.7	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )		0.0					
	その他( )		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	259,633.0	9.76	2,534.0	0.489	127.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,547.9		127.7	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	2,537.0			0.251	0.6	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	2,537.0			0.439	1.1	
合計							1.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、...

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	臨海町コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	6	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	臨海町 2-2-9									
事業所等の延床面積	2,176.50		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	41	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	81 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	81 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	37.2 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	100.5	45.00	4.5	0.014	0.2	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )		0.0					
	その他( )		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	165,473.0	9.76	1,615.0	0.489	80.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,619.5		81.1	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	931.0			0.251	0.2	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	931.0			0.439	0.4	
合計							0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
				C130	エレベータ運転台数の制限
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分			
CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)			kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他		特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C111\_予熱・予冷時の外気導入の停止、C113\_中間期における外気冷房の実施、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	東葛西コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西 8-22-1									
事業所等の延床面積	3,871.91 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	156	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	303 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	304 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	78.2 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	41,353.5	45.00	1,860.9	0.014	92.8	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	430,903.0	9.76	4,205.6	0.489	210.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					6,066.5			303.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,996.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,996.0			0.439	0.9	
合計								1.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	長島桑川コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西5-31-18									
事業所等の延床面積	2,498.13		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	54	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	106 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	106 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	42.4 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	217,740.0	9.76	2,125.1	0.489	106.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,125.1			106.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	812.5			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	812.5			0.439	0.4	
合計								0.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無				
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)		%
		CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載					

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 6-9-14									
事業所等の延床面積	3,677.64		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	155	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	300	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	302	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	81.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	68,289.3	45.00	3,073.0	0.014	153.2	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	301,633.0	9.76	2,943.9	0.489	147.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					6,017.0			300.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	4,034.0			0.251	1.0	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	4,034.0			0.439	1.8	
合計								2.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩アーバンプラザ										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 1-17-1									
事業所等の延床面積	7,583.44		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	298	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	578 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	7 t
	総計( = + )	585 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	76.2 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	72,767.8	45.00	3,274.6	0.014	163.3	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	849,105.0	9.76	8,287.3	0.489	415.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					11,561.8			578.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	10,660.0			0.251	2.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	10,660.0			0.439	4.7	
合計								7.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
				E110	高効率モータの導入(空調用)
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、E102\_蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)、E104\_照明点灯範囲の細分化、E105\_照明用人感センサの採用、E109\_空調の冷温水配管の保温の実施、E139\_進相コンデンサ等による力率改善、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	北小岩コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北小岩 6-35-17									
事業所等の延床面積	1,896.60		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	50	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	97 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	97 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	51.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	18,646.8	45.00	839.1	0.014	41.8	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	113,361.0	9.76	1,106.4	0.489	55.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,945.5		97.3	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	990.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	990.0			0.439	0.4	
合計								0.7	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、B104\_設備ごとに詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東瑞江 1-17-1									
事業所等の延床面積	3,455.35		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	78	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	153	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1	t
	総計( = + )	154	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	44.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量 <sup>1</sup> (t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	14,892.3	45.00	670.2	0.014	33.4	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	244,666.0	9.76	2,387.9	0.489	119.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,058.1		153.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,974.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,974.0			0.439	0.9	
合計								1.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102照明スイッチに点灯範囲を表示C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東部フレンドホール										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	4	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	瑞江2-5-7									
事業所等の延床面積	6,055.99		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	160	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	311 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	313 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	51.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	43,361.2	45.00	1,951.3	0.014	97.3	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )		0.0					
	その他( )		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	437,539.0	9.76	4,270.4	0.489	214.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					6,221.6		311.3	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	3,066.0			0.251	0.8	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	3,066.0			0.439	1.3	
合計							2.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策			
	対策番号	対策名	対策番号	対策名		
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置				
	A203	具体的な取組目標と内容の設定				
	A204	取組状況の点検体制の構築				
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握		
			B104	設備ごとに詳細に把握		
			B107	主要設備の使用状況の把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施	
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理	
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止	
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃	
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検	
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)	

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	鹿骨事務所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	7	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	鹿骨 1-54-2									
事業所等の延床面積	3,194.94		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	86	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	167 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	168 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	52.2 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	27,016.1	45.00	1,215.7	0.014	60.6	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	219,207.0	9.76	2,139.5	0.489	107.2	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						3,355.2		167.8	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,754.0			0.251	0.7	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,754.0			0.439	1.2	
合計								1.9	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	篠崎コミュニティ会館										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	上篠崎 4-21-8									
事業所等の延床面積	1,468.93 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	41	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	80 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	80 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	54.4 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	16,254.3	45.00	731.4	0.014	36.5	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	90,495.0	9.76	883.2	0.489	44.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,614.7		80.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,230.0			0.251	0.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,230.0			0.439	0.5	
合計								0.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分			CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	希望の家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 5-32-6									
事業所等の延床面積	1,453.51		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	73	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	142	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	3	t
	総計( = + )	145	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	97.6	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	5,756.4	45.00	259.0	0.014	12.9	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	264,854.0	9.76	2,585.0	0.489	129.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,844.0		142.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	4,424.0			0.251	1.1	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	4,424.0			0.439	1.9	
合計								3.1	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	虹の家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	5	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西篠崎 2-18-22									
事業所等の延床面積	1,998.97 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	45	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	90 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	92 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	45.0 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	4,083.0	50.80	207.4	0.016	12.2	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	159,340.0	9.76	1,555.2	0.489	77.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,762.6			90.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,741.0			0.251	0.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,741.0			0.439	1.6	
合計								2.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコマメな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	みんなの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	4	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	本一色 3-38-3									
事業所等の延床面積	2,175.06		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	39	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	77	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2	t
	総計( = + )	79	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	35.4	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	4,528.8	45.00	203.8	0.014	10.2	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	136,879.0	9.76	1,335.9	0.489	66.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,539.7		77.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,283.0			0.251	0.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,283.0			0.439	1.4	
合計								2.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	えがおの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東葛西 5-10-5									
事業所等の延床面積	2,305.69 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所 工場			商業施設(物販) 複合施設				商業施設(飲食) その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	68	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	133 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	135 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	57.6 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	30,005.0	45.00	1,350.2	0.014	67.3	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )		0.0					
	その他( )		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	134,507.0	9.76	1,312.8	0.489	65.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					2,663.0		133.1	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	3,546.0			0.251	0.9	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	3,546.0			0.439	1.6	
合計							2.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C503	利用客数の時間別把握
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C510\_その他設備の不使用时の停止、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	さくらの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	4	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	小松川 3-13-4									
事業所等の延床面積	1,200.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	68 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	69 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	56.6 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	12,595.5	45.00	566.8	0.014	28.3	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	83,285.0	9.76	812.9	0.489	40.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,379.7			69.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	2,307.0			0.251	0.6	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	2,307.0			0.439	1.0	
合計								1.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	障害者支援ハウス										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 2-11-8									
事業所等の延床面積	1,722.06 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	60	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	117 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	3 t
	総計( = + )	120 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	67.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	12,528.8	45.00	563.8	0.014	28.1	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	183,265.0	9.76	1,788.7	0.489	89.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,352.5		117.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	5,763.0			0.251	1.4	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	5,763.0			0.439	2.5	
合計								4.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無	
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B104\_設備ごとに詳細に把握、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	江戸川保健所										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	5	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	2	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中央4-24-19									
事業所等の延床面積	1,450.08		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	1	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	37	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	73 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	74 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	50.3 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	9,766.5	45.00	439.5	0.014	21.9	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )		0.0					
	その他( )		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	104,857.7	9.76	1,023.4	0.489	51.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,462.9		73.2	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	1,732.8			0.251	0.4	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	1,732.8			0.439	0.8	
合計							1.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C503\_利用客数の時間帯別把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用方法表示、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	鹿骨健康サポートセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	6	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	7	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	鹿骨 1-55-10									
事業所等の延床面積	1,377.24		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	2	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	61 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	61 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	44.2 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	11,023.7	45.00	496.1	0.014	24.7	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	75,684.0	9.76	738.7	0.489	37.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,234.7			61.7	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	649.0			0.251	0.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	649.0			0.439	0.3	
合計								0.4	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	小岩健康サポートセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	3	-	0	0	5	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	東小岩 3-23-3									
事業所等の延床面積	2,273.70		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	2	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	43	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0	t
	総計( = + )	83	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	36.5	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	511.4	45.00	23.0	0.014	1.1	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	288.0	36.70	10.6	0.019	0.7	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	167,718.0	9.76	1,636.9	0.489	82.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,670.5		83.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,225.0			0.251	0.3	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,225.0			0.439	0.5	
合計								0.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E129	全熱交換器の導入
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西駅広場(手洗・駐輪・エスカレータ含む)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	2	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	中葛西 5-43									
事業所等の延床面積	5,680.05 m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満				
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	100	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	194 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	3 t
	総計( = + )	197 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	34.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	398,511.0	9.76	3,889.5	0.489	194.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,889.5			194.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	4,374.0			0.251	1.1	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	4,374.0			0.439	1.9	
合計								3.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C123	温湿度の適正管理
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	西葛西駅北口広場(手洗・駐輪含む)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	3	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西 5-1									
事業所等の延床面積	2,669.81		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	60 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	2 t
	総計( = + )	62 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	22.4 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	124,619.0	9.76	1,216.3	0.489	60.9	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,216.3		60.9	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	3,723.0			0.251	0.9	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	3,723.0			0.439	1.6	
合計								2.6	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数 × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
			B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C111\_予熱・予冷時の外気導入の停止、C113\_中間期における外気冷房の実施、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C130\_エレベータ運転台数の制限、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	瑞江駅南口駐輪場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	4	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	瑞江2-3									
事業所等の延床面積	4,800.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	9	4	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	34	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	66 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	66 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	13.7 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()			0.0					
	その他()			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	136,031.0	9.76	1,327.7	0.489	66.5	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,327.7			66.5	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	271.0			0.251	0.1	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	271.0			0.439	0.1	
合計								0.2	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握					
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C503	利用客数の時間帯別把握
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
	設備保守対策			D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新川地下駐車場										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	5	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	9	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地以下	船堀 7-2-1									
事業所等の延床面積	10,500.00		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	3	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	82	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	160	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0	t
	総計( = + )	160	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	15.2	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他( )			0.0				
	その他( )			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	327,369.0	9.76	3,195.1	0.489	160.1	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					3,195.1		160.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	450.0			0.251	0.1
	公共下水道		m <sup>3</sup>	450.0			0.439	0.2
合計							0.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130\_エレベータ運転台数の制限、C503\_利用客数の時間帯別把握、C510\_その他設備の不使用时の停止、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	行船公園(自然動物園)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	7	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	1	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	北葛西3-2-1									
事業所等の延床面積	2,577.69		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	236	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	459 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	28 t
	総計( = + )	487 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	178.0 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	15,362.1	45.00	691.3	0.014	34.5	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	868,385.0	9.76	8,475.4	0.489	424.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						9,166.7		459.1	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	40,652.0			0.251	10.2	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	40,652.0			0.439	17.8	
合計								28.0	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

<p>上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103_時間的に詳細に把握、B104_設備ごとに詳細に把握、C104_採光を利用した消灯の実施、C105_昼休み時の消灯の実施、C120_外灯等の点灯時間の季節別管理、C124_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126_事務用機器の台数見直し・集約化、C127_看板照明点灯時間の季節別管理、C128_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C130_エレベータ運転台数の制限、C509_中央熱源機器等の季節設定実施、C511_その他設備の効率的な使用法表示、C524_水道メータ等で漏水の有無の点検、</p>
--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	総合レクリエーション公園(なぎさポニーランド)										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	8	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	8	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西葛西6-7-8丁目									
事業所等の延床面積	1,270.36		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	156	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	304	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	18	t
	総計( = + )	322	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	239.3	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	43.5	45.00	2.0	0.014	0.1	
	その他(LPG)		kg	850.6	50.80	43.2	0.016	2.6	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	617,079.0	9.76	6,022.7	0.489	301.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						6,067.9		304.4	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	27,281.0			0.251	6.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	27,281.0			0.439	12.0	
合計								18.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握	
			B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無		
	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
目標値等(選択)	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	くつろぎの家										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	6	9	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	江戸川 2-13									
事業所等の延床面積	1,779.82		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	55	kl	
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	107	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	10	t
	総計( = + )	117	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	60.1	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	8,918.4	45.00	401.3	0.014	20.0	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	179,884.0	9.76	1,755.7	0.489	88.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						2,157.0		108.0	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	14,969.0			0.251	3.8	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	14,969.0			0.439	6.6	
合計								10.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有		無			
	目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。B103\_時間的に詳細に把握、C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C520\_給湯設定と使用場所の温度差把握、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、

### 地球温暖化対策報告書(その2)

#### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	中央くすのきカルチャーセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	0	
事業所等の所在地	〒	1	3	2	-	0	0	3	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	西小松川町 34-1									
事業所等の延床面積	2,123.90		m <sup>2</sup>	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満			
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分		直営店	加盟店	非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

#### 2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	32	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	62 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	1 t
	総計( = + )	63 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	29.1 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

#### 3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量			
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	374.1	45.00	16.8	0.014	0.8	
	その他(LPG)		kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0					
	その他( )			0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	125,526.0	9.76	1,225.1	0.489	61.4	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計						1,242.0		62.2	
その他	水道及び工業用水道		m <sup>3</sup>	1,832.0			0.251	0.5	
	公共下水道		m <sup>3</sup>	1,832.0			0.439	0.8	
合計								1.3	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。



## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用时の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	葛西くすのきカルチャーセンター										
事業所番号	A	1	0	2	0	-	0	0	7	1	
事業所等の所在地	〒	1	3	4	-	0	0	8	2	区市町村名	江戸川区
	町名番地下	宇喜田町 191									
事業所等の延床面積	1,260.47		m <sup>2</sup>		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分	1年未満		
所有形態	自己所有			他者所有							
報告範囲	建物の全部			建物の一部(テナント)				建物の一部(その他)			
報告範囲の主たる用途	事務所			商業施設(物販)				商業施設(飲食)			
	工場			複合施設				その他			
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	4	9	連鎖化事業区分			直営店	加盟店	非該当	
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量( = ×0.0258)	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量( = )	68 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量( = )	0 t
	総計( = + )	68 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量( = ×1000/事業所等の延床面積)	53.9 kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) =( /1000) ×	二酸化炭素排出量		
						排出係数	排出量(t) = × ×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	13,825.1	45.00	622.1	0.014	31.0	
	その他(LPG)	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他( )			0.0				
	その他( )			0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	76,288.0	9.76	744.6	0.489	37.3	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 <sup>2</sup>		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
合計					1,366.7		68.3	
その他	水道及び工業用水道	m <sup>3</sup>	1,187.0			0.251	0.3	
	公共下水道	m <sup>3</sup>	1,187.0			0.439	0.5	
合計							0.8	

1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、=( /1,000) × とする。

2 =(都が指定する原単位 × 延床面積 × 事業所等の総稼働時間)/1,000

=( /電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数) × 1,000 =( /1,000) × とする。

## 4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A202	温暖化対策推進担当の配置			
	A203	具体的な取組目標と内容の設定			
	A204	取組状況の点検体制の構築			
エネルギー等の 使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B108	エネルギー等情報の対策への活用	
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のコまめな消灯	C123	温湿度の適正管理
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C503	利用客数の時間帯別把握
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

目標達成した。

## 5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	有 無		ランク	CO <sub>2</sub> 削減率(前年度比)	%
	有	無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分				
	CO <sub>2</sub> 排出量(延床面積当たり)		kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	CO <sub>2</sub> 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

## 6 特記事項

上記以外にも、次に示す対策を実施している。C102\_照明スイッチに点灯範囲を表示、C103\_日本工業規格に準じた照度の設定、C104\_採光を利用した消灯の実施、C105\_昼休み時の消灯の実施、C107\_空調機スイッチに空調範囲を表示、C118\_自動販売機の休日・夜間照明停止、C119\_自動販売機の不要時の停止、C120\_外灯等の点灯時間の季節別管理、C121\_屋内駐車場換気の不要時間の停止、C122\_冷風と温風の混合損失の防止、C124\_冷凍機等の出入口温度把握と調整、C125\_進入外気に伴う空調負荷の低減、C126\_事務用機器の台数見直し・集約化、C127\_看板照明点灯時間の季節別管理、C128\_ポンプ・ファンの流量、圧力調整、C129\_季節に応じた温度設定の見直し、C130\_エレベータ運転台数の制限、C509\_中央熱源機器等の季節設定実施、C510\_その他設備の不使用時の停止、C511\_その他設備の効率的な使用法表示、C521\_利用客数別燃料使用量の把握、C522\_効率的な台数でのボイラ等の運転、C523\_蒸気の漏れ・保温の管理、C524\_水道メータ等で漏水の有無の点検、C525\_利用客数別水道使用量の把握、